

第1回空家等対策協議会 議事要旨

日 時： 令和7年5月16日（金） 午前10時00分～11時00分

場 所： 可児市庁舎 5階第1委員会室

出席者： 【委員】11名

会長

亀井 栄治

会長職務代理者

加藤 幸治

山田 貢司

柴田 実

山本 学

小林 毅

佐々木 富公朗

林 厚子

坂井 秀機

中井 克裕（富田成輝代理）

前川 一平

加納 克彦

櫻井 智浩

前田 茂宏

渡邊 恵里香

欠席者：

事務局： 施設住宅課長

同課住宅係長

同課主査

関係部局： 防災安全課長

環境課長

建築指導課長

土田 英雅

水野 正貴

今井 亨紀

1 会長の選任及び職務代理者の指名

- ・ 亀井委員が会長に選任され、職務代理者に加藤委員が指名された。
- ・ 亀井会長があいさつを行った。

2 報告事項

（1）令和6年度 空家等実態調査結果について

委 員：空家等実態調査はどのように行っているのか。

事務局：実際に現地に赴き、目視にて行っている。

会 長：自治会が把握している実態とは多少違う可能性がある。

会 長：桜ヶ丘の空き家解消が多いが、具体的な動きがある等の理由はあるか。

事務局：検証できていない。

(2) 令和6年度の実績報告について

会 長：通報に対する対応率とあるが、これは市役所側が対応した対応率か。

事務局：所有者が通知に対して対応してくれた対応率である。

(3) 令和7年度の主な事業予定について

会 長：空家等実態調査で水道休止情報を使うことにより空家数が増える予想だとのことだったが、どういうことか。

事務局：今まで空き家だと思わなかった物件が空き家として把握できるということ。

委 員：今までの調査とは全く違う新規の調査になるのか。

事務局：今までのデータは入れてあるため、継続の調査になる。

委 員：タブレットで空家等実態調査を行うとのことだが、罹災証明等とリンクできるのか。もしできるのであれば、建物の傾きについて、地震が原因か、前からなのかの検討に使える。

会 長：実際のシステムを見たかった。

事務局：現在試行中だが、来年度の協議会ではどのようなシステムかお示しできる予定である。

委 員：地域利用とのマッチングとあるが、空き家は電気・ガス・水道等を切っているため、そういったものの再開費用や使用代、修繕・リフォーム・リノベーション費用等は持ってくれる等あるのか。

事務局：まだ実績が全くないため、何が求められているのか等が分からず、整理ができていない。

委 員：そこがまとまっていると、申請しやすいので、整理をしてほしい。

委 員：いい取り組みだとは思うので、県の方も協力していきたい。

委 員：空家政策は実態調査・解体等の守りの施策と、マッチング・リノベ等の攻めの施策がある。そこが資料で分かれていると見やすい。

委 員：空き家・空き地バンクの登録は積極的に進めているのか。安心できる不動産会社に登録したいが、それが分からないという市民もいると思う。不動産会社と提携するというのはどうか。

事務局：空き家・空き地バンクの協力不動産事業者という形で既に登録はあるし、協会と連携もしている。

委 員：可児市は団地の空き家が多いため、活用するにせよ民泊にする等の業種が変えられない。費用をかけて改修しても活用できないかもしれない。行政がどこまで応援できるかというところも出てくる。